

Dell

UZ2215H/UZ2315H/UZ2715H

ユーザーズ ガイド

モデル : UZ2215H/UZ2315H/UZ2715H

規定モデル : UZ2215Hf/UZ2315Hf/UZ2715Hb



注、注意および警告



注：「注」は、コンピューターをよりよく使いこなすための重要な情報を表します。



注意：「注意」は指示に従わなければ、ハードウェアが故障する危険性、またはデータが消失する危険性を示しています。



警告：「警告」は物件損害、人的被害または死亡の危険性を表します。

本文書中の情報は、通知することなく変更することがあります。

© 2014 ~ 2016 Dell Inc. 複製を禁ず。

Dell 社の書面による許可なしには、いかなる方法による複製も厳禁します。

このテキストで使用される商標：Dell および DELL のロゴは Dell Inc の商標です。Microsoft および Windows は商標またはアメリカ合衆国および / またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標です。Intel は、米国およびその他における Intel Corporation の登録商標の国です。と ATI は Advanced Micro Devices、Inc の登録商標です。

マークおよび名称を請求する団体またはその製品を参照するために、本文書中で、その他の商標および商号を使うことがあります。Dell 社は、自社以外の商標および商号の所有権を放棄します。

目次

1	製品の特徴	5
	パッケージの内容	5
	製品の特長	7
	部品とコントロールの確認	8
	モニター仕様	12
	プラグ アンド プレイ機能	26
	ユニバーサル シリアル バス (USB) インターフェース	27
	LCD モニター品質とピクセル ポリシー	28
	保守のガイドライン	29
2	モニターのセットアップ	31
	スタンドを取り付ける	31
	モニターを接続する	31
	ケーブルを調整する	35
	モニタースタンドを取り外す	35
	壁取り付け (オプション)	36
3	モニターの操作	37
	モニターを電源オンにする	37
	正面パネルボタンを使う	37
	オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューの 使用	41
	最大解像度を設定する	54
	傾けを使う (UZ2215H および UZ2715H)	55
	傾け、旋回させ、垂直に伸ばす (UZ2315H)	56
	垂直に伸ばす	56
	システムの「ディスプレイ回転設定」の調整 (UZ2315H)	58
4	問題を解決する	59
	自己テスト	59
	内蔵診断	60
	よくある問題	61

製品別の問題	64
ユニバーサル シリアル バス (USB) 固有の問題	65
Mobile High-Definition Link (MHL) 特有の問題	65
Microsoft® Lync® 特有の問題	66
5 付録	67
米国連邦通信委員会 (FCC) 通告 (米国内のみ)	
およびその他規制に関する情報	67
Dell へのお問い合わせ	67
モニターのセットアップ	67

1

製品の特徴

パッケージの内容

モニターには、以下に示すコンポーネントがすべて付属しています。コンポーネントがすべて揃っているかを確認し、コンポーネントが足りないときは [Dell へのお問い合わせ](#)。



注：一部のアイテムはオプションで、モニターに付属していません。機能またはメディアには、特定の国で使用できないものもあります。



注：その他のスタンドをご購入頂いた際は、スタンドの設置方法はスタンドセットアップガイドをご参照ください。

	<ul style="list-style-type: none">• モニター
UZ2215H と UZ2715H UZ2315H 	<ul style="list-style-type: none">• スタンド
	<ul style="list-style-type: none">• 電源ケーブル（国により異なります）

	<ul style="list-style-type: none"> • 電源アダプタ
	<ul style="list-style-type: none"> • HDMI ケーブル
	<ul style="list-style-type: none"> • DP ケーブル
	<ul style="list-style-type: none"> • USB 3.0 アップストリームケーブル（モニターの USB ポートを有効にします）
	<ul style="list-style-type: none"> • ドライバとマニュアルメディア • クイック セットアップガイド • DP1.2 Multi Stream Transport (MST) 技術仕様書 • 安全と規制についての情報

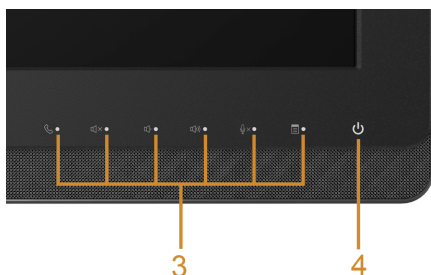
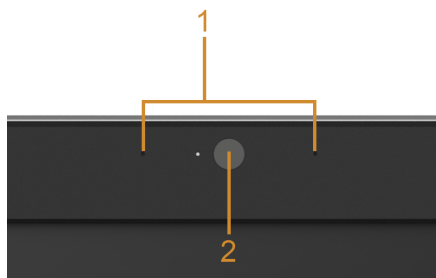
製品の特長

Dell UZ2215H/UZ2315H/UZ2715H フラットパネル ディスプレイにはアクティブマトリックス、薄膜トランジスター (TFT)、液晶ディスプレイ (LCD) および LED バックライトが搭載されています。モニターの機能は、以下のようになっています：

- **UZ2215H** : 54.61 cm (21.5 インチ) 表示可能領域のディスプレイ (対角で測定)。1920 x 1080 解像度、低解像度の場合全画面もサポートしています。
- **UZ2315H** : 58.42 cm (23 インチ) 表示可能領域のディスプレイ (対角で測定)。1920 x 1080 解像度、低解像度の場合全画面もサポートしています。
- **UZ2715H** : 68.58 cm (27 インチ) 表示可能領域のディスプレイ (対角で測定)。1920 x 1080 解像度、低解像度の場合全画面もサポートしています。
- 広い表示角度により、座った位置からでも立った位置からでも、または横に動きながらでも見ることができます。
- メガダイナミック コントラスト率 (8,000,000 : 1)。
- **UZ2215H/UZ2715H** : チルト対応。
- **UZ2315H** : チルト、スイベル、垂直引き伸ばし、回転調整機能。
- DisplayPort、HDMI (MHL)、USB 3.0 によるすべてのデジタル接続機能が、今もそしてこれからもモニターの性能を保証。
- Microsoft® Lync® 向けに最適化。
- 取り外し可能なスタンドと VESA™ (ビデオエレクトロニクス規格協会) 100 mm 取り付け穴で柔軟な取付が可能。
- システムでサポートされている場合、プラグアンドプレイ機能。
- オンスクリーン ディスプレイ (OSD) 調整で、セットアップと画面の最適化が容易。
- ソフトウェアとマニュアルメディアには、情報ファイル (INF)、画像カラーマッチングファイル (ICM)、および製品マニュアルが含まれています。
- Dell Display Manager ソフトウェア付属 (モニターに付属の CD に同梱されています)。
- セキュリティ ロック スロット。
- スタンドロック。
- 広角表示から標準表示に、画像の品質を保ちながら切り替える機能。
- UZ2215H/UZ2315H/UZ2715H モニターは、BFR/PVC が軽減されています。
- TCO 認証ディスプレイ。
- パネルのみ無ヒ素ガラスかつ無水銀です。
- スリープモード時には 0.5 W スタンバイ電源になります。
- 電源ゲージはモニターが消費している電力レベルをリアルタイムで見ることができます。

部品とコントロールの確認

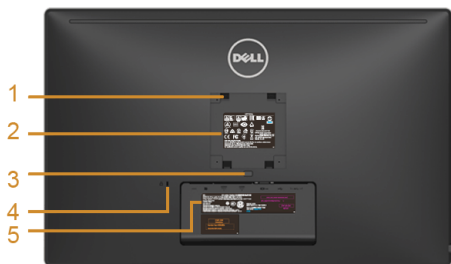
正面図



前面パネルのコントロール

ラベル	説明
1	マイク
2	ウェブカメラ (フル HD)
3	機能ボタン (詳細は、 モニターの操作 を参照してください)
4	電源オン / オフ ボタン (LED インジケーター付き)

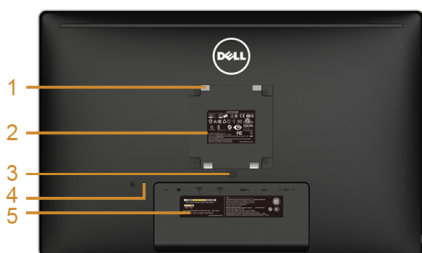
背面図



UZ2715H



UZ2215H / UZ2715H
背面図 (モニターのスタンド付き)



UZ2215H / UZ2315H



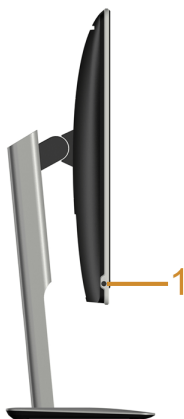
UZ2315H 背面図
(モニターのスタンド付き)

ラベル	説明	使用
1	VESA 取り付け穴 (100 mm x 100 mm - 接続された VESA カバーの背面)	VESA 互換の壁取付キットを使う壁取付モニター (100 mm x 100 mm)。
2	規制ラベル	規制承認を表示します。
3	スタンド取外しボタン	スタンドをモニターから外します。
4	セキュリティ ロックスロット	セキュリティ ロックでモニターを固定します (セキュリティ ロックは含まれません)。
5	バーコードシリアル番号ラベル	技術サポートを受けるには Dell に連絡してください。
6	ケーブル管理スロット	ケーブルをスロットに通してケーブル類を整理するために使います。

側面図



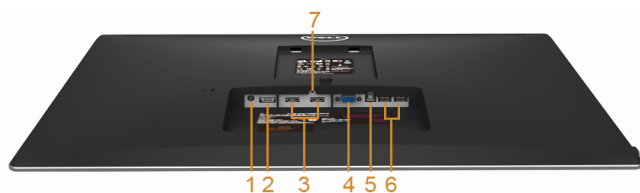
UZ2215H / UZ2715H



UZ2315H

ラベル	説明	使用
1	ヘッドフォン出力 / マイクロフォン入力コンボ端末	ヘッドセットに接続。

底面図



モニタースタンドなし底面図

ラベル	説明	使用
1	アダプタ コネクター	電源ケーブルを接続してください。
2	DP コネクター	コンピューターの DP ケーブルを接続してください。
3	HDMI (MHL) ポート コネクター	MHL デバイスに MHL ケーブルを接続します。
4	VGA コネクター	コンピューターの VGA ケーブル (別売り) を接続してください。
5	USB アップストリーム ポート	モニターに付いてきた USB ケーブルをモニターとコンピューターに接続してください。接続すると、モニターにある USB 接続を使用できます。
6	USB ダウンストリーム ポート	USB デバイスを接続してください。このコネクターは、USB ケーブルをコンピューターと、モニターの USB 上流ケーブルに接続した後にのみ利用できます。
7	スタンドのロック機能	M3 x 6 mm ネジを使ってスタンドをモニタにロックする (ネジは含まれていません)。

モニター仕様

フラットパネル仕様

モデル	UZ2215H	UZ2315H	UZ2715H
スクリーンタイプ	有効マトリックス - TFT LCD		
パネルタイプ	PLS (Plane to Line Switching) パネル		
表示可能画像			
対角	54.61 cm (21.5 インチ)	58.42 cm (23.0 インチ)	68.58 cm (27.0 インチ)
水平、アクティブ エリア	476.06 mm (18.74 インチ)	509.18 mm (20.05 インチ)	597.9 mm (23.5 インチ)
垂直、アクティブ エリア	267.79 mm (10.54 インチ)	286.42 mm (11.28 インチ)	336.3 mm (13.24 インチ)
エリア	127484.11 mm ² (197.52 インチ ²)	145839.34 mm ² (226.16 インチ ²)	201073.77 mm ² (311.66 インチ ²)
ピクセルピッチ	0.248 mm x 0.248 mm	0.265 mm x 0.265 mm	0.3114 mm x 0.3114 mm
表示角度	178° (垂直) 標準 178° (水平) 標準		
ルミネランス出力	250 cd/m ² (標準)	300 cd/m ² (標準)	300 cd/m ² (標準)
コントラスト比	1000 対 1 (標準) 8,000,000 対 1 (メガダイナミックコントラスト オン)		
面板コーティング	ハードコーティング 3H の抗グレア		
バックライト	LED バックライト方式		
応答時間	オーバードライブ搭載状態で 8 ms (GTG)		
色の深さ	16.7 万種類の色		
色域	CIE1976 (83%)*		CIE1976 (88%)**

* [UZ2215H] [UZ2315H] の色域 (標準) は、CIE 1976 (83%) および CIE1931 (72%) テスト基準に基づいています。

** [UZ2715H] の色域 (標準) は、CIE 1976 (88%) および CIE1931 (72%) テスト基準に基づいています。

解像度仕様

モデル	UZ2215H/UZ2315H/UZ2715H
水平走査幅	30 kHz ~ 83 kHz (自動)
垂直走査幅	56 Hz ~ 76 Hz (自動)
事前設定の最高解像度	60 Hz で 1920 x 1080

ビデオのサポートモード

モデル	UZ2215H/UZ2315H/UZ2715H
ビデオディスプレイ機能 (HDMI & DP 再生)	480p、480i、576p、720p、1080p、576i、1080i

事前設定ディスプレイモード

UZ2215H/UZ2315H

ディスプレイモード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	周波数 (MHz)	同期極 (水平 / 垂直)
VESA、720 x 400	31.5	70.1	28.3	-/+
VESA、640 x 480	31.5	59.9	25.2	-/-
VESA、640 x 480	37.5	75.0	31.5	-/-
VESA、800 x 600	37.9	60.3	40.0	+/+
VESA、800 x 600	46.9	75.0	49.5	+/+
VESA、1024 x 768	48.4	60.0	65.0	-/-
VESA、1024 x 768	60.0	75.0	78.8	+/+
VESA、1152 x 864	67.5	75.0	108.0	+/+
VESA、1280 x 1024	64.0	60.0	108.0	+/+
VESA、1280 x 1024	80.0	75.0	135.0	+/+
VESA、1600 x 900	60.0	60.0	108.0	+/+
VESA、1920 x 1080	67.5	60.0	148.5	+/+

UZ2715H

ディスプレイモード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	周波数 (MHz)	同期極 (水平 / 垂直)
VESA、720 x 400	31.5	70.1	28.3	-/+
VESA、640 x 480	31.5	59.9	25.2	-/-
VESA、640 x 480	37.5	75.0	31.5	-/-
VESA、800 x 600	39.9	60.3	40.0	+/+
VESA、800 x 600	46.9	75.0	49.5	-/-
VESA、1024 x 768	48.4	60.0	65.0	-/-
VESA、1024 x 768	60.0	75.0	78.8	+/+
VESA、1280 x 1024	64.0	60.0	108.0	+/+
VESA、1280 x 1024	80.0	75.0	135.0	+/+
VESA、1152 x 864	67.5	75.0	108.0	+/+
VESA、1600 x 900	55.5	60.0	97.8	+/-
VESA、1920 x 1080	67.5	60.0	148.5	+/+

MHL ソースのディスプレイモード

ディスプレイモード	周波数 (Hz)
640 x 480p	60
720 x 480p	60
720 x 576p	50
1280 x 720p	60
1280 x 720p	50
1920 x 1080i	60
1920 x 1080i	50
1920 x 1080p	30
1920 x 1080p	60
1920 x 1080p	50
720 (1440) x 480i	60
720 (1440) x 576i	50

電氣的仕様

モデル		UZ2215H/UZ2315H/UZ2715H
ビデオ入力信号		<ul style="list-style-type: none"> アナログ RGB、0.7 ボルト +/- 5%、正電極が 75 オーム入カインピーダンス DisplayPort、各差動線路毎に 600 mV、作動ペアあたり 100 ohm 入カインピーダンス HDMI (MHL)、各差動線路毎に 600 mV、作動ペアあたり 100 ohm 入カインピーダンス
同期入力信号		個別水平および垂直同期、電極フリー TTL レベル、SOG (複合同期オングリーン)
AC/DC アダプター*	入力電圧 / 周波数 / 電流	90~264 VAC/50~60 Hz/ 1.5 A RMS @ 90 VAC & 0.8 A RMS @ 180 VAC
	出力電圧 / 電流	出力 : 19.5 V/4.62 A
インラッシュ電流		115 V/230 V : 150 A (最大)

* 互換性のある AC/DC アダプター。



注意 : モニターの故障を防ぐために、本 Dell モニター用に設計されたアダプターのみご使用ください。

ブランド	製造元	モデル	極性
Dell	Lite-On	LA90PM111	

カメラ - マイク仕様

レンズ	視野	1920 x 1080 のとき 72.4°
	フォーカスモード	固定フォーカス
	フォーカス領域	21 cm ~ 無限
	焦点距離 (通常モード)	50 cm
画像センサー	アクティブなアレイサイズ	2.0 メガピクセル
ビデオ仕様	ビデオのフレームレート	1920 x 1080 (フル HD) - 最大 30 フレーム / 秒
		640 x 480 (VGA) 以下 - 最大 30 フレーム / 秒
オーディオ仕様	マイクのタイプ	無指向性デジタルマイクロフォン x 2
インターフェース	USB 2.0 高速	
電源	3.3 ボルト +/- 5%	

スピーカーの仕様

モデル	UZ2215H	UZ2315H	UZ2715H
スピーカー	2 x 3.0 W		2 x 5.0 W
周波数応答	250 Hz - 20 kHz		
動作温度範囲	-25°C ~ 70°C		

物理特性

モデル	UZ2215H
コネクタタイプ	15-pin D-subminiature (青いコネクタ)、DP (黒いコネクタ)、HDMI (MHL)、USB 3.0 (黒い端末)、ヘッドフォン出力 / マイクロフォン入力 (コンボ)
信号ケーブルタイプ	<ul style="list-style-type: none">• デジタル : 取外可能、HDMI、19 ピン• デジタル : 取外可能、MHL、19 ピン• デジタル : 取外可能、DP、20 ピン• USB : 取外可能、USB、9 ピン
寸法 (スタンド付き)	
高さ	407.5 mm (16.04 インチ)
幅	530.7 mm (20.89 インチ)
奥行き	180.0 mm (7.09 インチ)
寸法 (スタンドなし)	
高さ	342.4 mm (13.48 インチ)
幅	530.7 mm (20.89 インチ)
奥行き	44.6 mm (1.76 インチ)
スタンド寸法	
高さ	314.6 mm (12.39 インチ)
幅	190.0 mm (7.48 インチ)
奥行き	180.0 mm (7.09 インチ)
重量	
重さ (パッケージ含む)	6.48 kg (14.26 lb)
重さ (スタンドアセンブリとケーブルを含む)	4.88 kg (10.74 lb)
重さ (スタンドアセンブリなし) (壁取付または VESA 取付用 - ケーブルなし)	3.12 kg (6.86 lb)
スタンドアセンブリの重さ	1.01 kg (2.22 lb)
フロントフレーム (ツヤあり)	黒フレーム - 13.0 グロス (最大) シルバーフレーム - 20.0 グロス (最大)

モデル	UZ2315H
コネクタタイプ	15-pin D-subminiature (青いコネクタ)、DP (黒いコネクタ)、HDMI (MHL)、USB 3.0 (黒い端末)、ヘッドフォン出力 / マイクフォン入力 (コンボ)
信号ケーブルタイプ	<ul style="list-style-type: none"> デジタル：取外可能、HDMI、19 ピン デジタル：取外可能、MHL、19 ピン デジタル：取外可能、DP、20 ピン USB：取外可能、USB、9 ピン
寸法 (スタンド付き)	
最高 (引き伸ばし時)	501.9 mm (19.76 インチ)
最高 (圧縮)	376.9 mm (14.84 インチ)
幅	563.8 mm (22.20 インチ)
奥行き	180.0 mm (7.09 インチ)
寸法 (スタンドなし)	
高さ	361.0 mm (14.21 インチ)
幅	563.8 mm (22.20 インチ)
奥行き	44.6 mm (1.76 インチ)
スタンド寸法	
最高 (引き伸ばし時)	399.7 mm (15.74 インチ)
最高 (圧縮)	274.7 mm (10.81 インチ)
幅	225.0 mm (8.86 インチ)
奥行き	180.0 mm (7.09 インチ)
重量	
重さ (パッケージ含む)	8.06 kg (17.73 lb)
重さ (スタンドアセンブリとケーブルを含む)	6.08 kg (13.38 lb)
重さ (スタンドアセンブリなし) (壁取付または VESA 取付用 - ケーブルなし)	3.50 kg (7.70 lb)
スタンドアセンブリの重さ	1.83 kg (4.03 lb)
フロントフレーム (ツヤあり)	黒フレーム - 13.0 グロス (最大) シルバーフレーム - 20.0 グロス (最大)

モデル	UZ2715H
コネクタタイプ	15-pin D-subminiature (青いコネクタ)、DP (黒いコネクタ)、HDMI (MHL)、USB 3.0 (黒い端末)、ヘッドフォン出力 / マイクフォン入力 (コンボ)
信号ケーブルタイプ	<ul style="list-style-type: none"> デジタル：取外可能、HDMI、19 ピン デジタル：取外可能、MHL、19 ピン デジタル：取外可能、DP、20 ピン USB：取外可能、USB、9 ピン
寸法 (スタンド付き)	
高さ	467.7 mm (18.41 インチ)
幅	658.8 mm (25.94 インチ)
奥行き	196.0 mm (7.72 インチ)
寸法 (スタンドなし)	
高さ	418.2 mm (16.46 インチ)
幅	658.8 mm (25.94 インチ)
奥行き	46.0 mm (1.81 インチ)
スタンド寸法	
高さ	338.1 mm (13.31 インチ)
幅	220.0 mm (8.86 インチ)
奥行き	196.0 mm (7.72 インチ)
重量	
重さ (パッケージ含む)	9.32 kg (20.54 lb)
重さ (スタンドアセンブリとケーブルを含む)	6.83 kg (15.06 lb)
重さ (スタンドアセンブリなし) (壁取付または VESA 取付用 - ケーブルなし)	4.67 kg (10.30 lb)
スタンドアセンブリの重さ	1.43 kg (3.15 lb)
フロントフレーム (ツヤあり)	黒フレーム - 13.0 グロス (最大) シルバーフレーム - 20.0 グロス (最大)

環境特性

モデル	UZ2215H	UZ2315H	UZ2715H
温度			
運転時	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)		
非運転時	<ul style="list-style-type: none"> • ストレージ : -20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F) • 輸送時 : -20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F) 		
湿度			
運転時	10% ~ 80% (結露しないこと)		
非運転時	<ul style="list-style-type: none"> • ストレージ : 5% ~ 90% (結露しないこと) • 輸送時 : 5% ~ 90% (結露しないこと) 		
高度			
運転時	5,000 m (16,404 ft) (最大)		
非運転時	12,192 m (40,000 ft) (最大)		
熱発散	<ul style="list-style-type: none"> • 204.78 BTU/時 (最大) • 85.33 BTU/時 (最大) 	<ul style="list-style-type: none"> • 204.78 BTU/時 (最大) • 85.33 BTU/時 (最大) 	<ul style="list-style-type: none"> • 238.85 BTU/時 (最大) • 61.42 BTU/時 (最大)

電源管理モード

VESA DPM™ 準拠ディスプレイカードまたは PC 上でインストールしたソフトウェアを使った場合、モニターは、未使用時に、自動的に電源消費の省力を行います。これを、「省電力モード」* と呼びます。コンピューターがキーボード、マウス、またはその他の入力デバイスから入力を検出すると、モニターは自動的に機能を再開します。次の表は、この自動電源セーブ機能の電源消費と信号を表したものです。

UZ2215H

VESA モード	水平同期	垂直同期	ビデオ	電源インジケータ	電源消費
通常運転	有効	有効	有効	白色	60 W (最大) ** 23 W (標準)
無効モード	無効	無効	空白	白 (かすかに点灯)	1.2 W 以下
スイッチを切る	-	-	-	オフ	0.5 W 以下

UZ2315H

VESA モード	水平同期	垂直同期	ビデオ	電源インジケータ	電源消費
通常運転	有効	有効	有効	白色	60 W (最大) ** 25 W (標準)
無効モード	無効	無効	空白	白 (かすかに点灯)	1.2 W 以下
スイッチを切る	-	-	-	オフ	0.5 W 以下

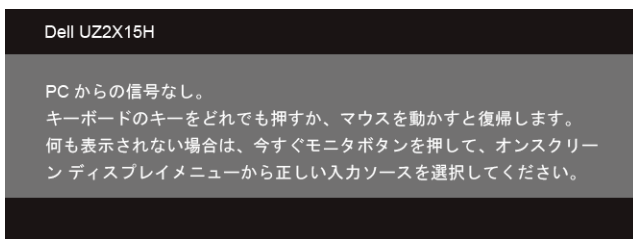
UZ2715H

VESA モード	水平同期	垂直同期	ビデオ	電源インジケータ	電源消費
通常運転	有効	有効	有効	白色	70 W (最大) ** 18 W (標準)
無効モード	無効	無効	空白	白 (かすかに点灯)	1.2 W 以下
スイッチを切る	-	-	-	オフ	0.5 W 以下

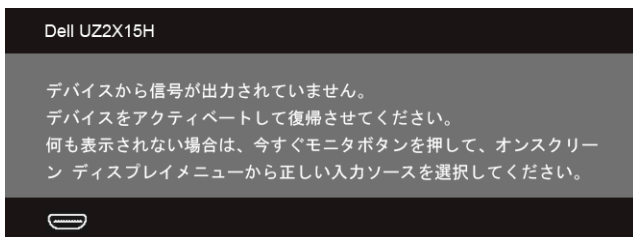
* オフモードでのゼロ電源消費は、モニターからのメインケーブルを外してはじめて、有効になります。

** 最大消費電力は最大輝度および USB と積極的な測定され。

OSD は、通常の動作モードでのみ機能します。アクティブオフモードでどれかのボタンを押すと、次のメッセージが表示されます：



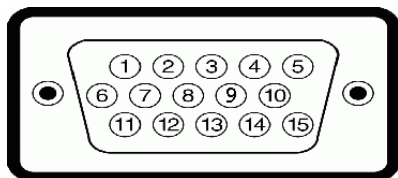
または



コンピューターがアクティブになり、モニターで OSD にアクセスできるようになります。

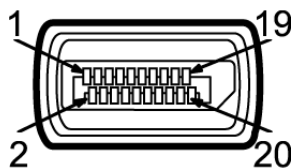
ピン割当

VGA コネクタ



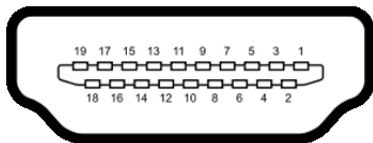
ピン数	接続した信号ケーブルの 15ピン側
1	ビデオ - 赤
2	ビデオ - 緑
3	ビデオ - 青
4	GND
5	自己テスト
6	GND-R
7	GND-G
8	GND-B
9	コンピューター 5 V/3.3 V
10	GND- 同期
11	GND
12	DDC データ
13	H- 同期
14	V- 同期
15	DDC クロック

DisplayPort コネクター



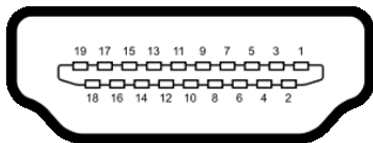
ピン数	接続した信号ケーブルの 20 ピン側
1	ML0(p)
2	GND
3	ML0(n)
4	ML1(p)
5	GND
6	ML1(n)
7	ML2(p)
8	GND
9	ML2(n)
10	ML3(p)
11	GND
12	ML3(n)
13	GND
14	GND
15	AUX(p)
16	GND
17	AUX(n)
18	GND
19	PWR 戻る
20	+3.3 V DP_PWR

HDMI コネクター



ピン数	接続した信号ケーブルの 19 ピン側
1	TMDS DATA 2+
2	TMDS DATA 2 SHIELD
3	TMDS DATA 2-
4	TMDS DATA 1+
5	TMDS DATA 1 SHIELD
6	TMDS DATA 1-
7	TMDS DATA 0+
8	TMDS DATA 0 SHIELD
9	TMDS DATA 0-
10	TMDS クロック +
11	TMDS CLOCK SHIELD
12	TMDS クロック -
13	CEC
14	予約済み (デバイスの N.C.)
15	DDC クロック信号 (SCL)
16	DDC データ (SDA)
17	DDC/CEC 接地
18	+5 V 電源
19	ホットプラグ検出

MHL コネクター



ピン数	接続した信号ケーブルの 19 ピン側
1	TMDS DATA 2+
2	TMDS DATA 2 SHIELD
3	TMDS DATA 2-
4	TMDS DATA 1+
5	GND
6	TMDS DATA 1-
7	MHL+
8	TMDS DATA 0 SHIELD
9	MHL-
10	TMDS クロック +
11	GND
12	TMDS クロック -
13	CEC
14	予約済み (デバイスの N.C.)
15	DDC クロック信号 (SCL)
16	DDC データ (SDA)
17	GND
18	VBUS (+5 V、最大 900 mA)
19	CBUS

プラグアンドプレイ機能

プラグアンドプレイ互換システムで、モニターをインストールすることができます。モニターがディスプレイ データ チャンネル (DDC) プロトコルを使って、コンピューターシステムに拡張ディスプレイ 特定データ (EDID) を自動的に提供するため、システムが、自己設定により、モニター設定を最適化します。ほとんどのモニターインストールは自動で行われます。必要に応じて異なる設定を選択できます。モニター設定の変更の詳細については、[モニターの操作](#)を参照してください。

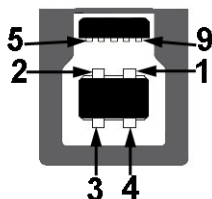
ユニバーサル シリアルバス (USB) インターフェース

本項では、モニターで使用できる USB ポートについて説明します。

 **注：**このモニターは Super-Speed USB 3.0 互換です。

転送速度	データ率	電源消費 *
Super-Speed	5 Gbps	4.5 W (最大、各ポート)
高速	480 Mbps	4.5 W (最大、各ポート)
全速度	12 Mbps	4.5 W (最大、各ポート)

USB アップストリーム コネクタ



ピン数	9 ピン (コネクタの側面に表示)
1	VCC
2	D-
3	D+
4	GND
5	SSTX-
6	SSTX+
7	GND
8	SSRX-
9	SSRX+

USB ダウンストリーム コネクタ



ピン数	9 ピン (コネクタの側面に表示)
1	VCC
2	D-
3	D+
4	GND
5	SSTX-
6	SSTX+
7	GND
8	SSRX-
9	SSRX+

USB ポート

- 1 アップストリーム - 後方
- 2 ダウンストリーム - 後方



注：USB 3.0 機能には USB 3.0 対応のコンピューターが必要です。



注：モニターの USB インターフェイスは、モニターがオンのとき、または省電力モードに入っているときのみ作動します。モニターをオフにしてから再びオンにすると、接続された周辺機器は数秒後に通常の機能を回復します。

LCD モニター品質とピクセルポリシー

LCD モニターの製造プロセスにおいて、いくつかのピクセルが特定の状態に固定されることはよくあります。見つけにくく、表示品質および使い勝手に影響しません。Dell 社のモニターの品質とピクセルに関する方針の詳細、詳細については、Dell サポート (<http://www.dell.com/support/monitors>) を参照してください。

保守のガイドライン

モニターを洗淨する



注意：モニターの洗淨前には、**安全指示**を読み、その指示に従ってください。



警告：モニターの洗淨前には、**電源コンセントからモニター電源ケーブルを外してください**。

最高の性能を引き出すために、モニターを開梱、洗淨、または操作している間、以下のリストの指示に従ってください。

- 静電気防止スクリーンを洗淨するには、柔らかい、きれいな布を水で軽く湿らせてください。できれば、特殊スクリーン洗淨ティッシュまたは静電気防止コーティングに適して溶液を使用してください。ベンゼン、シンナー、アンモニア、研磨クリーナー、または圧縮空気は使用しないでください。
- むるま湯で軽く湿らせた布を使用して、モニターを洗淨します。合成洗剤によりモニターの乳白色のフィルムがはがれることがあるため、合成洗剤の使用は避けてください。
- モニターの梱包を開けている間に白いパウダーにお気づきになりましたら、布で拭き取ってください。
- 暗いプラスチックは、明るいモニターより白いカフマークを削り、表示するため、モニターの取り扱いには注意してください。
- モニターの画像品質を最高の状態に保つために、スクリーンセーバーを作動し、使用しないときはモニターの電源をオフにしてください。

2

モニターのセットアップ

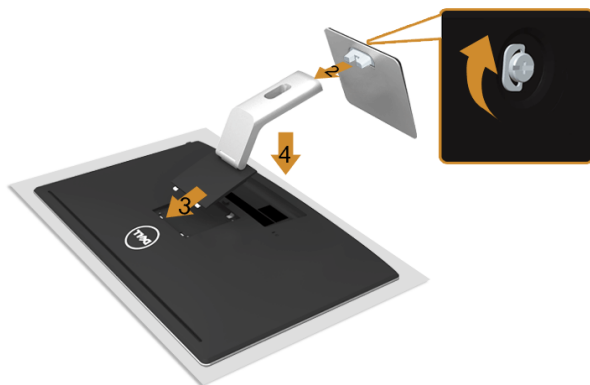
スタンドを取り付ける



注：モニターを工場から出荷するときは、スタンドを取外します。



注：これはスタンド付モニターについての説明です。その他のスタンドをご購入頂いた際は、スタンドの設置方法はスタンドセットアップガイドをご参照ください。



モニタースタンドを取り付けるには：

1. カバーを外して、その上にモニターを載せます。
2. 高さ調整脚をスタンドベースに取り付けます。スタンドベースの下のネジを締めます。
3. モニター背面の溝をスタンド上部の2つのタブに合わせます。
4. スタンドを押して、はめ込んでください。

モニターを接続する



警告：このセクションで手続きをはじめる前に、[安全指示](#)に従ってください。

注：すべてのケーブルを同時にコンピューターに接続しないでください。

モニターをコンピューターに接続する：

1. コンピューターの電源をオフにして、電源ケーブルを外します。
モニター VGA/HDMI/MHL/DP ケーブルをユーザーのコンピューターにつなぎます。

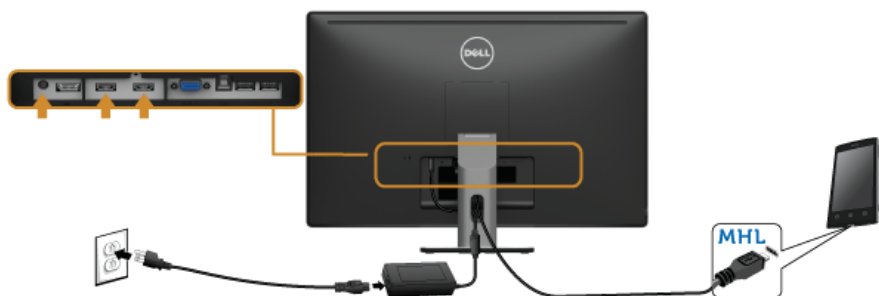
青いVGAケーブルの接続



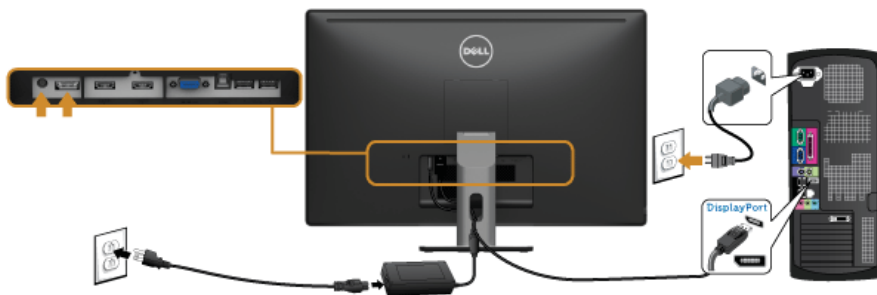
HDMIケーブルの接続



MHLケーブルの接続



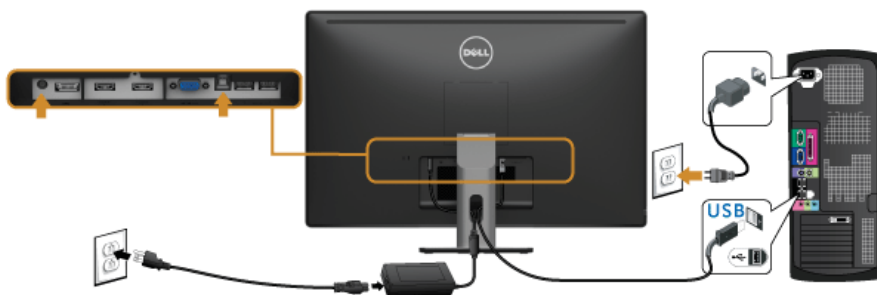
黒い DisplayPort ケーブルの接続



USB 3.0 ケーブルを接続する

VGA/DP/HDMI ケーブルに完全に接続したら、以下の手順に従って USB 3.0 ケーブルをコンピュータに接続し、モニターのセットアップを完了してください：

1. アップストリーム USB 3.0 ケーブル（付属のケーブル）をモニターのアップストリームポートに、次にコンピュータの適切な USB 3.0 ポートに接続します（詳細は[底面図](#)を参照してください）。
2. USB 3.0 周辺機器をモニターのダウンストリーム USB 3.0 ポートに接続します。
3. コンピューターとモニターの電源ケーブルを近くのコンセントに差し込みます。
4. モニターおよびコンピュータの電源をオンにします。
モニターに画像が表示されたら、インストールは完了します。画像が表示されない場合は、[ユニバーサル シリアルバス \(USB\) 固有の問題](#)を参照してください。
5. モニタースタンドのケーブルホルダーを使ってケーブルを整理してください。



Mobile-High Definition Link (MHL) を使う

- 注：このモニターは MHL 認証を受けています。
- 注：MHL 機能を使用する場合は、MHL 出力に対応した MHL 認証を受けたケーブルとソース デバイスだけをご使用ください。
- 注：MHL ソース デバイスによっては、画像を出力するのに数秒またはそれ以上かかる場合があります。
- 注：接続した MHL ソース デバイスがスタンバイ モードに入ると、MHL ソース デバイスの出力によっては、モニターの画面が黒くなったり、あるいは次のようなメッセージを表示したりします。



MHL 接続を有効にするには、次の手順に従ってください。

1. モニターの電源ケーブルをコンセントに繋ぎます。
2. MHL ソースデバイスの (micro) USB ポートとモニターの HDMI (MHL) 1 ポートまたは HDMI (MHL) 2 ポートを MHL 認証ケーブルで繋ぎます (詳細は[底面図](#)参照)。
3. モニターと MHL ソースデバイスの電源を入れます。




4. OSD メニューを使って、モニターの入力ソースを HDMI (MHL) 1 または HDMI (MHL) 2 に設定します (詳細は[オンスクリーン ディスプレイ \(OSD\) メニューの使用](#)参照)。
5. 画像が表示されない場合は、[Mobile High-Definition Link \(MHL\) 特有の問題](#)を参照してください。


ケーブルを調整する

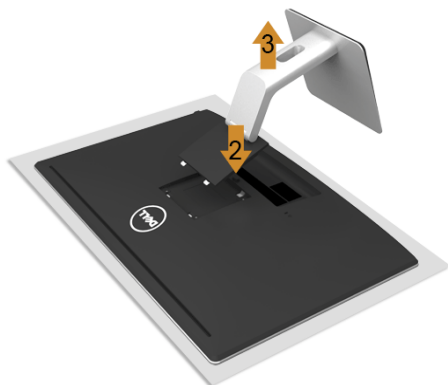


モニターおよびコンピューターに必要なケーブルすべてを取り付けた後、（ケーブルの取り付けについては、[モニターを接続する](#)を参照してください）上記のとおり、ケーブル管理スロットを使って、すべてのケーブルを適切に調整します。

モニタースタンドを取り外す

 **注：** 台を取り外している間に LCD 画面に傷が付かないように、モニターは必ずきれいな面に置くようにしてください。

 **注：** これはスタンド付モニターについての説明です。その他のスタンドをご購入頂いた際は、スタンドの設置方法はスタンドセットアップガイドをご参照ください。



スタンドを取り外すには：

1. 柔らかい布またはクッションの上にモニターを置きます。
2. スタンドリリース ボタンを押し下げます。
3. スタンドを持ち上げ、モニターから外します。

壁取り付け（オプション）



（ネジの寸法：M4 x 10 mm）。

VESA 互換壁取り付けキットに付いている使用説明書を参照してください。

1. モニターのパネルを、安定した平らなテーブルの柔らかい布またはクッションの上に置きます。
2. スタンドを外します。
3. プラスドライバーを使って、プラスチックカバーを固定している4つのネジを外します。
4. 壁取り付けキットのブラケットをモニターに取り付けます。
5. 壁取り付けキットに付いている使用説明書に従って、壁にモニターを取り付けます。




注：3.1 kg (UZ2215H) / 3.7 kg (UZ2315H) / 4.7 kg (UZ2715H) の最小重量 / 負荷支持強度を持つ UL 指定の壁取り付けブラケットでのみ使用できます。

3

モニターの操作

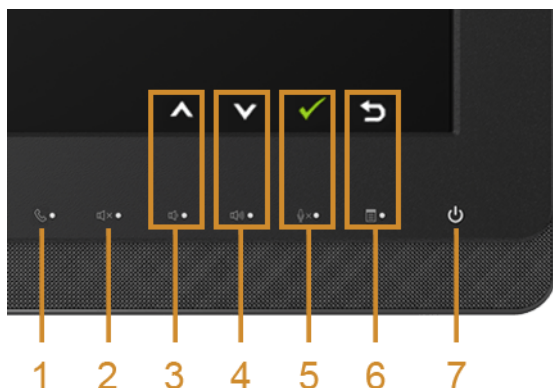
モニターを電源オンにする

 ボタンを押してモニターをオンにします。














正面パネルボタンを使う

モニター前面のコントロールボタンを使用して、Microsoft® Lync® ソフトウェアにリンクするか、表示されている画像の特性を調整します。これらのボタンを使用して調整を行うとき、OSD または LED インジケータに変更される特性の数値または動作が表示されます。



正面パネルのボタンと OSD ボタンについては、次の表にまとめてあります：

正面パネルボタン / OSD ボタン		説明	
1	 応答	招待通知を受けとるには、「 応答 」ボタンを使います。	
2	 無音	消音するには、「 無音 」ボタンを使います。	
3	 ボリューム を下げる	 上	<ul style="list-style-type: none">OSD バーのボリュームを下げるには、「ボリュームを下げる」ボタンを使います。「上」ボタンを押すと、OSD メニューのアイテムを調整できます（範囲を広げます）。
4	 ボリューム を上げる	 下	<ul style="list-style-type: none">OSD バーのボリュームを上げるには、「ボリュームを上げる」ボタンを使います。「下」ボタンを押すと、OSD メニューのアイテムを調整できます（範囲を狭めます）。
5	 マイクロ フォン無音	 OK	<ul style="list-style-type: none">マイクロフォンを消音するには、「マイクロフォン無音」ボタンを使います。「OK」ボタンを押して、選択内容を確定します。
6	 メニュー	 戻る	<ul style="list-style-type: none">OSD を開くには、「メニュー」ボタンを使います。「戻る」ボタンを使用すると、前のメニューに戻ります。 <p>メニューシステムにアクセスするを参照してください。</p>
7	 電源（電源ライトインジ ケータ付き）		<p>電源ボタンを使ってモニターの電源のオン / オフを切り替えます。</p> <p>白いライトが点灯しているときには、モニターが完全に機能していることを示しています。淡い白いライトは、省電力モードに入っていることを示しています。</p>

パネル ボタンを使って Microsoft® Lync® にアクセスする

- モニターで Microsoft® Lync® 機能を有効にするには、コンピュータとモニターが USB アップストリーム ケーブルで接続されているか確認してください。このケーブルが使用されていない場合は、次のメッセージが表示されます。



- **注：ボリュームを上げるとボリュームを下げる以外のフロントパネルのボタンは、コンピュータで Microsoft® Lync® が有効になっている場合にしか使用できません。**

1. 応答

Lync に誰かが電話をかけてくると、「応答」ボタンが点滅します。音声電話またはテレビ電話に出るには、「応答」ボタンを押してください。

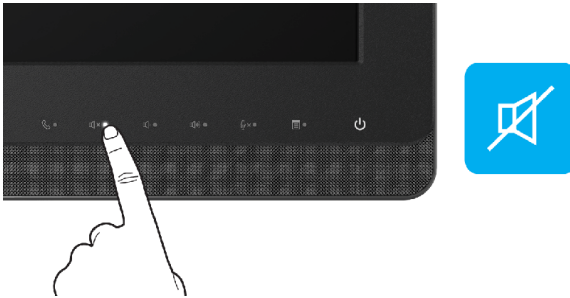


現行の音声電話またはテレビ電話を終了するには、「応答」を押します。



2. 無音

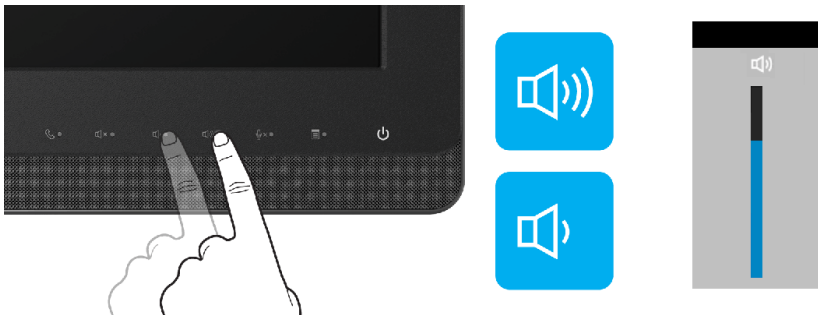
音を消すには、「無音」ボタンを押します。音が無音になっていると、無音ボタンが点灯します。



3. ボリュームを下げる / ボリュームを上げる

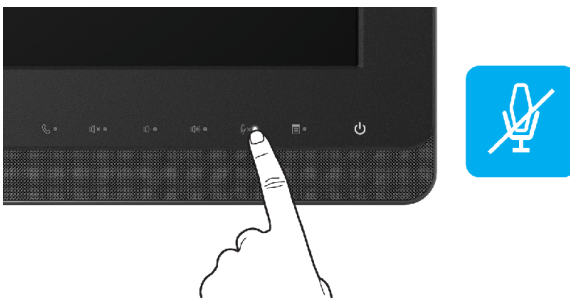
音量を調整するには、「ボリュームを下げる」ボタンか「ボリュームを上げる」ボタンを使います。

有効にした OSD にボリューム レベルが表示されます。




4. マイクフォン無音


マイクフォンの音を消すには、「マイクフォン無音」ボタンを押します。マイクフォンが無音になっていると、マイクフォン無音ボタンが点灯します。



オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューの使用

メニューシステムにアクセスする

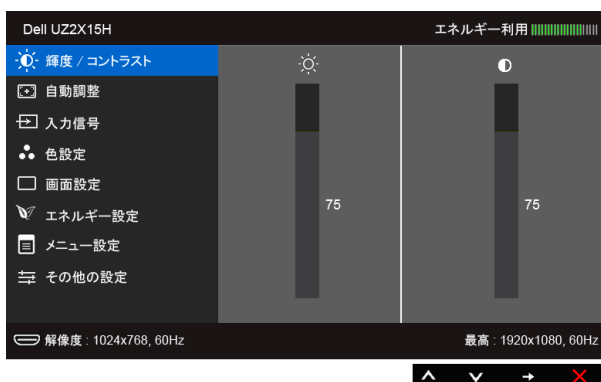
 **注：**設定を変えてから別のメニューに進んだり OSD メニューを終了したりすると、モニターはこれらの変更を自動的に保存します。設定を変更してから OSD メニューが消えるのを待っても、変更は保存されます。

1.  ボタンを押して OSD メニューを起動し、メインメニューを表示します。

アナログ (VGA) 入力用のメインメニュー

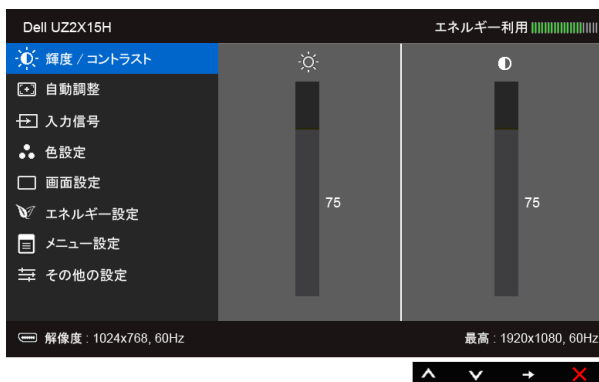


デジタル (HDMI (MHL) 1/ HDMI (MHL) 2) 入力用のメインメニュー



または

デジタル (DP) 入力用のメインメニュー



2. ▲ と ▼ ボタンを使って、設定オプション間を移動します。あるアイコンから別のアイコンに移動すると、オプション名がハイライト表示されます。モニターで利用できるすべてのオプションについては、次の表を参照してください。
3. → ボタンを使うと、ハイライトされたオプションが有効になります。
4. ▲ と ▼ 使って、目的のパラメーターを選択します。
5. → を使ってスライダーに入り、メニューのインジケーターに従って ▲ と ▼ を使い変更を行います。
6. ↶ ボタンを選択してメインメニューに戻ります。



輝度 / コントラスト

このメニューを使って「**輝度 / コントラスト**」調整を有効にします。



輝度

「**輝度**」は、バックライトの輝度を調整します。

▲ を使って輝度を上げ、▼ を使って輝度を下げます（最小 0 / 最大 100）。

注：「**動的コントラスト**」がオンになっているときには、手動で「**輝度**」を調整することはできません。

コントラスト

まず「**輝度**」を調整し、それでも調整が必要な場合のみ「**コントラスト**」を調整します。

▲ を使ってコントラストを上げ、▼ を使ってコントラストを下げます（最小 0 / 最大 100）。

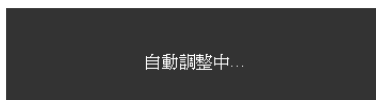
「**コントラスト**」機能は、モニターの画面の暗い部分と明るい部分の違いの程度を調整します。



自動調整

起動時にモニターが認識された場合でも、**自動調整機能**があれば特定のセットアップで使用するために、ディスプレイ設定を最適化できます。

自動調整では、モニターに着信するビデオ信号を自動調整します。**自動調整**を使用した後、**画像設定**の下で**周波数**（粗い）と**フェーズ**（細かい）コントロールを使用して、モニターを微調整することができます。



注：ほとんどの場合、**自動調整**で設定すると最適の画像が得られます。

注：「**自動調整**」オプションは、アナログ (VGA) コネクタを使用しているときにのみ利用できます。



入力信号

「入力信号」メニューを使って、モニターに接続されたさまざまなビデオ信号を選択します。



VGA

アナログ (VGA) コネクタを使用しているとき、「VGA 入力」を選択します。→ を使って VGA 入力ソースを選択します。



DisplayPort

DisplayPort (DP) コネクタを使用しているとき、「DisplayPort 入力」を選択します。→ を使って DisplayPort 入力ソースを選択します。



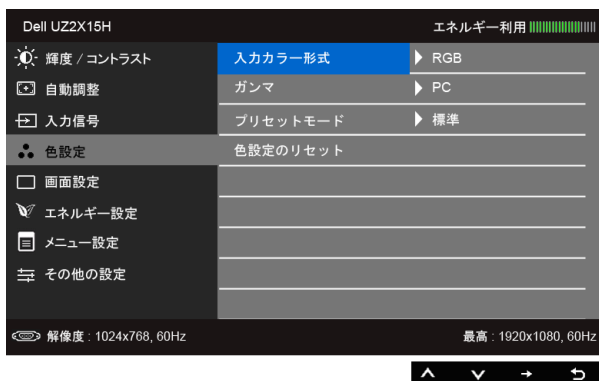
HDMI (MHL) 1 HDMI (MHL) 2

HDMI コネクタを使用しているとき、「HDMI (MHL) 1 または HDMI (MHL) 2 入力」を選択します。→ を使って HDMI (MHL) 1 または HDMI (MHL) 2 入力ソースを選択します。



色設定

「色設定」を使って色設定モードを調整します。



入力カラー形式

ビデオ入力モードを次のように設定できます。

RGB : HDMI ケーブル（または DisplayPort ケーブル）を使ってモニターとコンピュータに接続している場合は（MHL デバイスの場合は MHL ケーブル）、このオプションを選択します。

YPbPr : HDMI ケーブル（または DisplayPort ケーブル）を使って YPbPr の DVD プレーヤーとコンピュータに接続している場合は（YPbPr の MHL デバイスの場合は MHL ケーブル）、このオプションを選択します。

または DVD（または MHL デバイス）の色出力設定が RGB 以外の場合。



ガンマ

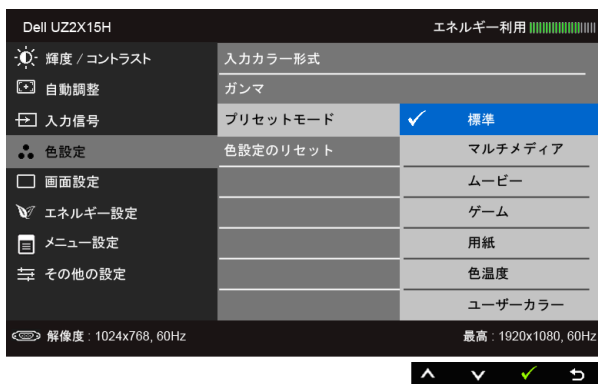
ガンマを PC または MAC に設定することができます。



プリセット モード

プリセットモードを選択すると、リストから**標準**、**マルチメディア**、**ムービー**、**ゲーム**、**用紙**、**色温度**、**ユーザーカラー**を選択できます。

- **標準**：モニターのデフォルトの色設定をロードします。これは、デフォルトのプリセットモードです。
- **マルチメディア**：マルチメディアアプリケーションに適した色設定をロードします。
- **ムービー**：ムービーに適した色設定をロードします。
- **ゲーム**：ほとんどのゲームアプリケーションに適した色設定をロードします。
- **用紙**：テキストを表示するのに適した明るさとシャープネス設定をロードします。テキストの背景をブレンドして、カラー画像に影響を与えることなしに紙メディアをシミュレートします。RGB入力形式にのみ適用します。
- **色温度**：次の色温度を選択できます：5000K、5700K、6500K、7500K、9300K、10000K。
- **ユーザーカラー**：色設定を手動で調整します。▲ と ▼ を使って3つの色 (R、G、B) 値を調整し、独自のプリセット色モードを作成します。



色相

この機能により、ビデオ画像の色は緑または紫にシフトします。色相

は、望ましいフレッシュな色調を調整するために使用されます。▲ または ▼ を使って色合いを「0」～「100」の範囲で調整します。

▲ を使ってビデオ画像の緑の影を増加します。

▼ を使ってビデオ画像の紫の影を増加します。

注：「色相」調整は、**ムービー**または**ゲーム**モードでのみ使用できます。

彩度

この機能は、ビデオ画像の色の彩度を調整します。▲ または ▼ を使って彩度を「0」～「100」の範囲で調整します。

▲ を使ってビデオ画像のモノクロの外見を増加します。

▼ を使ってビデオ画像の色鮮やかな外見を増加します。

注：彩度調整は、ムービーまたはゲームモードでのみ使用できます。

色設定のリセット

モニターの色設定を工場出荷時の設定にリセットします。

画面設定

画面設定を使って画像を調整します。



アスペクト比 画像の比率はワイド16:9、4:3、5:4に設定できます。

水平位置

▲ または ▼ を使って画像を左または右に調整します。最小は「0」(-)です。最大は「100」(+)です。

垂直位置

▲ または ▼ を使って画像を上または下に調整します。最小は「0」(-)です。最大は「100」(+)です。

注：水平位置と垂直位置調整は、「VGA」入力でのみ利用できます。

シャープネス

この機能を使って、画像をよりシャープにまたはソフトにします。

▲ または ▼ を使ってシャープネスを「0」～「100」の範囲で調整します。

周波数

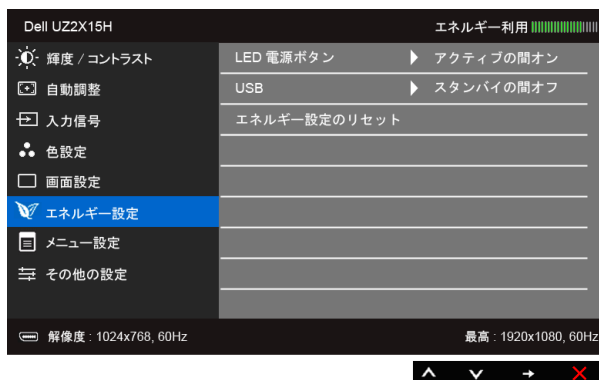
フェーズおよび周波数調整により、モニターをお好みに従って調整できます。

▲ または ▼ を使って最適の画像品質に調整します。

フェーズ	<p>フェーズ調整を使って満足する結果が得られない場合、周波数（粗い）調整を使い、次にフェーズ（細かい）を再び使用します。</p> <p>注：周波数とフェーズ調整は、「VGA」入力でのみ利用できます。</p>
動的コントラスト	<p>コントラストレベルを高めて、よりシャープで鮮明な画質に仕上げます。</p> <p>➔ ボタンを使って「動的コントラスト」の「オン」または「オフ」を切り替えます。</p> <p>注：「動的コントラスト」はムービーまたはゲームモードを選択したときに高コントラストを実現します。</p>
応答時間	<p>応答時間を「通常」または「オーバードライブ」に設定できます。</p>
画面設定のリセット	<p>このオプションを選択して、デフォルトのディスプレイ設定を復元します。</p>



エネルギー設定



LED電源ボタン	<p>節電のために、電源 LED インジケータのオン / オフを設定できます。</p>
USB	<p>モニターがスタンバイモードのときに、USB 機能を有効 / 無効にすることができます。</p> <p>注：スタンバイモードで USB をオン / オフにするには、USB アップストリームケーブルを外す必要があります。USB アップストリームケーブルが接続されているときには、このオプションはグレー表示され使用することができません。</p>
エネルギー設定のリセット	<p>デフォルトのエネルギー設定を復元するには、このオプションを選択します。</p>



メニュー設定 このオプションを選択して、OSD の言語、メニューが画面に表示されている時間など、OSD の設定を調整します。



言語 OSD ディスプレイを 8 つの**言語**（英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、ブラジルポルトガル語、ロシア語、簡体字中国語、日本語）の 1 つに設定する言語オプション。

透明度 このオプションを選択し、**▲** または **▼** ボタンを使ってメニュー透明化を変更します（最小 0/ 最大 100）。

タイマー **OSD 保持時間**：ボタンを最後に押してから OSD が有効になっている時間の長さを設定します。
▲ または **▼** を使ってスライダを 5 ～ 60 秒まで、1 秒刻みで調整します。

ロック ユーザーの調整へのアクセスをコントロールします。「**ロック**」が選択されているとき、ユーザー調整は許可されません。すべてのボタンがロックされます。

注：

ロック機能 - ソフトロック（OSD メニューから）かハード機能（電源ボタンの横にあるボタンを 10 秒間押します）

ロック解除機能 - ハード解除のみ（電源ボタンの横にあるボタンを 10 秒間押します）

メニュー設定のリセット すべての OSD 設定を工場出荷時のプリセット値にリセットします。



その他の設定



DDC/CI

DDC/CI（ディスプレイ データチャンネル / コマンド インターフェイス）により、コンピューターのソフトウェアを介してモニターのパラメーター（輝度、色バランスなど）を調整します。

「オフ」を選択することで、この機能を無効にできます。

ユーザー体験を最大限に高め、モニターのパフォーマンスを最適にする場合、この機能を有効にします。



LCD コンディショニング

画像保持の微細な問題を軽減します。画像保持の程度によっては、プログラムが実行されるまでに少し時間がかかることがあります。「オン」を選択することで、この機能を有効にできます。



他の設定のリセット 「その他の設定」メニューですべての設定を初期値に戻します。

工場リセット すべての設定を工場出荷時のプリセット値にリセットします。



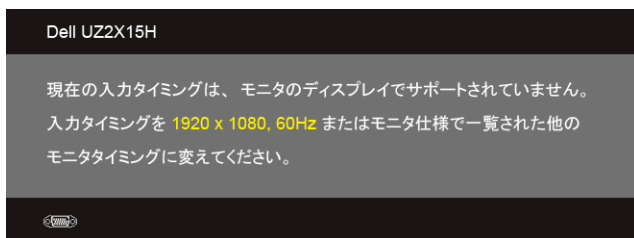
注：このモニターには自動的に輝度を調整して LED の老朽化を補正する機能が内蔵されています。

OSD 警告メッセージ

「動的コントラスト」機能が有効に設定されている場合は（ゲームまたはムービーなどのプリセットモード）、手動輝度調整は無効になります。

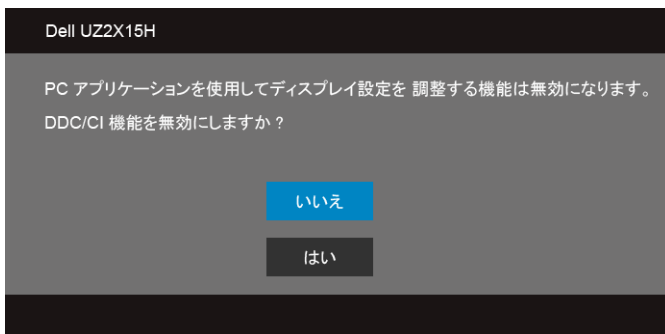


モニターが特定の解像度モードをサポートしていないとき、次のメッセージが表示されます：



これは、モニターがコンピューターから受信している信号と同期できないことを意味します。このモニターが使用できる水平および垂直周波数幅については、[モニター仕様](#)を参照してください。推奨モードは、1920 x 1080 画素です。

DDC/CI 機能が無効になる前に、次のメッセージが表示されます：



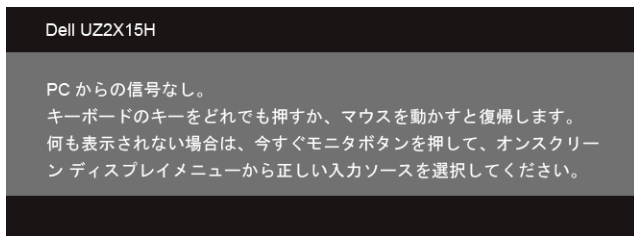
モニターが省電力モードに入ると、次のメッセージが表示されます：



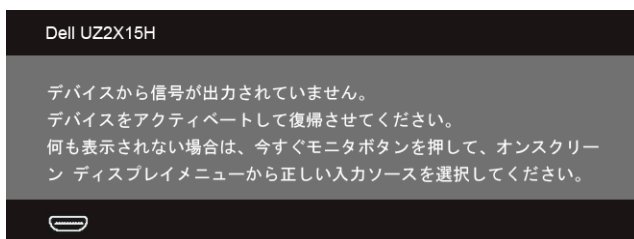
コンピューターを有効にして、モニターを立ち上げ、OSD にアクセスします。

電源ボタン以外のボタンを押すと、選択した入力によって次のメッセージのどれかが表示されます：

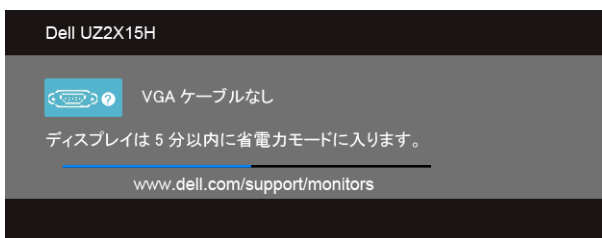
VGA/DP/HDMI (MHL) 入力



または



VGA、HDMI (MHL) または DP 入力を選択されているが相当するケーブルが接続されていない場合、以下のような浮動ダイアログボックスが表示されます。



または



または




または



詳細は、[問題を解決する](#)を参照してください。

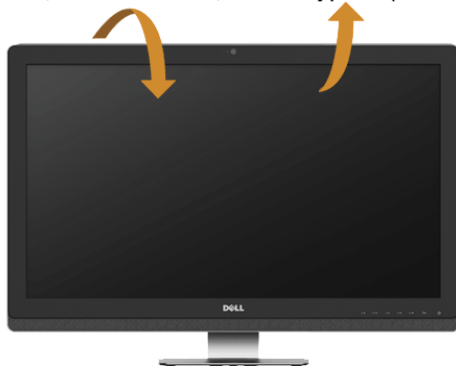
傾けを使う (UZ2215H および UZ2715H)


 注: これはスタンド付モニターについての説明です。その他のスタンドをご購入頂いた際は、スタンドの設置方法はスタンドセットアップガイドをご参照ください。

傾き


モニターにスタンドを取り付けると、モニターを最も快適な角度に傾斜させることができます。

5° typical (maximum 6.5°) 21° typical (maximum 22°)



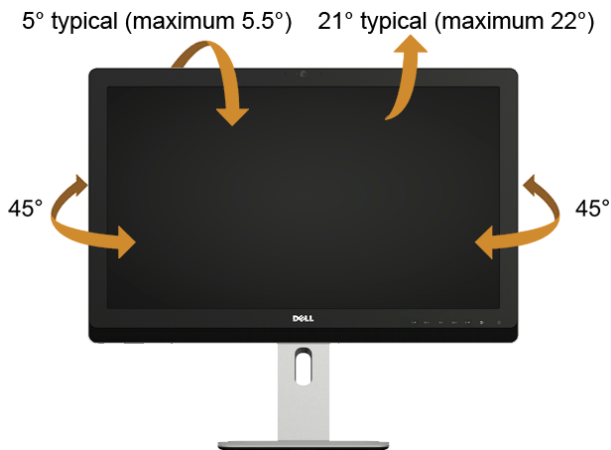
 注: モニターを工場から出荷するときは、スタンドを取外します。


傾け、回転させ、垂直に伸ばす (UZ2315H)

 注：これはスタンド付モニターについての説明です。その他のスタンドをご購入頂いた際は、スタンドの設置方法はスタンドセットアップガイドをご参照ください。


傾き、旋回

モニターにスタンドを取り付けると、モニターを最も快適な角度に傾斜させたり、向きを変えたりすることができます。



 注：モニターを工場から出荷するときは、スタンドを取外します。

垂直に伸ばす

 注：スタンドは、垂直に最大 125 mm 伸ばせます。



モニターの回転

モニターを回転させる前に、モニターが垂直に拡張している（**垂直に伸ばす**）か、またはモニターの底部エッジの傾きを避けるために傾けてあるかいずれかになっています。



右回転



システムの「ディスプレイ回転設定」の調整 (UZ2315H)

モニターを回転させた後、以下の手順でシステムの「ディスプレイの回転設定」を調整する必要があります。



注：Dell コンピュータ以外でモニターを使用している場合、グラフィックスドライバのウェブサイトまたはお使いのコンピュータの製造元ウェブサイトに進み、オペレーティングシステムの回転についての情報を確認します。

ディスプレイの回転設定を調整するには：

1. デスクトップを右クリックして、**プロパティ**をクリックします。
2. **設定**タブを選択し、**アドバンス**をクリックします。
3. ATI グラフィックスカードを使っている場合は、**回転**タブを選択して、お気に入りの回転を設定します。
4. nVidia グラフィックスカードを使っている場合は、**nVidia** タブをクリックして、左カラムで **NVRotate** を選択し、次にお気に入りの回転を選択します。
5. Intel® グラフィックスカードを使っている場合は、**Intel** グラフィックスタブを選択して、**グラフィックスプロパティ**をクリックし、**回転**タブを選択し、次にお気に入りの回転を設定します。



注：回転オプションがない場合、または正常に作動しない場合は、www.dell.com/support で、グラフィックスカード用の最新ドライバをダウンロードしてください。

4

問題を解決する



警告：このセクションで手続きをはじめの前に、**安全指示**に従ってください。

自己テスト

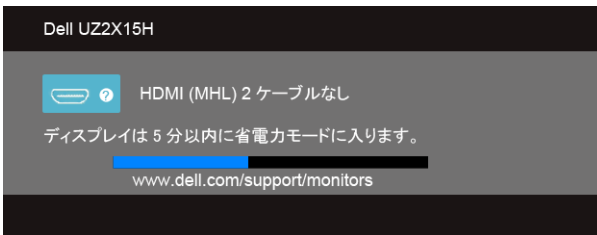
お使いのモニターには、自己テスト機能が装備され、適切に機能しているかどうかを確認できます。モニターとコンピューターが適切に接続されていて、モニター スクリーンが暗い場合は、次の手順でモニター自己テストを実行してください：

1. コンピューターとモニター両方の電源をオフにする。
2. コンピューターの後ろからビデオ ケーブルを外す。自己テストが適切に運用できるようにするには、コンピュータの後ろからデジタルとアナログ ケーブル両方を外します。
3. モニターの電源をオンにする。

モニターがビデオ信号を検知できないが正しく作動している場合、画面に浮動ダイアログボックスが（黒い背景に）表示されます。自己テストモードでは、電源 LED が白になります。また、選択した入力によって、下に表示されるダイアログの1つが画面上をスクロールし続けます。



または



または



または




4. ビデオ ケーブルが外されているか、または破損している場合、通常システムの運転中、このボックスが表示されます。
5. モニターの電源をオフにして、ビデオ ケーブルを再接続し、次にコンピューターとモニター両方の電源をオンにします。

前の手順を行った後もモニター スクリーンに何も表示されない場合、モニターが適切に機能していないため、ビデオ コントローラーおよびコンピューターをチェックしてください。

内蔵診断

モニターには内蔵の診断ツールが付属しており、発生している画面の異常がモニターに固有の問題か、またはコンピューターやビデオ カードに固有の問題かを判断します。

 **注：**内蔵の診断は、ビデオ ケーブルがプラグから抜かれ、モニターが自己テストモードに入っているときのみ、実行できます。



内蔵診断を実行するには、以下の手順に従います。

1. 画面がきれいであること（または、画面の表面に塵粒がないこと）を確認します。
2. コンピューターの後ろからビデオ ケーブルを外します。モニターが自己テスト モードに入ります。
3. フロントパネルの**ボタン 3**と**ボタン 6**を2秒間同時に押し続けます。グレイの画面が表示されます。
4. 画面に異常がないか、慎重に検査します。
5. サイドパネルの**ボタン 6**を再び押します。画面の色が赤に変わります。
6. ディスプレイに異常がないか、検査します。
7. ステップ5と6を繰り返して、緑、青、黒、白い画面、およびテキスト画面についてもディスプレイを検査します。

テキスト画面が表示されると、テストは完了です。終了するには、**ボタン 6**を再び押し
ます。

内蔵の診断ツールを使用しているときに画面に異常が検出されない場合、モニターは適切
に作動しています。ビデオ カードとコンピューターをチェックしてください。

よくある問題

次の表には、発生する可能性のあるモニターのよくある問題と考えられる解決策に関する
一般情報が含まれます。

一般的な症状	発生した問題	実行可能な解決策
ビデオなし / 電源 LED オフ	画像が表示され ない	<ul style="list-style-type: none">• コンピューターにモニターを接続しているビデオ ケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します。• 他の電気機器を使用して、コンセントが正しく機能していることを確認します。• 電源ボタンが完全に押されていることを確認します。• 入力信号メニューにより適切な入力ソースが選択されていることを確認してください。
ビデオなし / 電源 LED オフ	画像なし、または 輝度がない	<ul style="list-style-type: none">• OSD によって、輝度とコントラストコントロールを増加します。• モニター自己診断テスト機能チェックを実行します。• ビデオ ケーブル コネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。• 内蔵診断を実行します。• 入力信号メニューにより適切な入力ソースが選択されていることを確認してください。
フォーカスが弱い	画像が不鮮明か、 ぼやけているか、 または薄れている	<ul style="list-style-type: none">• OSD によって 自動調整を実行します。• OSD によって、フェーズと周波数制御を調整してください。• ビデオ拡張ケーブルを外します。• モニターを工場出荷時設定にリセットします。• ビデオ解像度を正しいアスペクト比に変更します。

ビデオが揺れたり / 画像が波打ったり、ずれたりする	画像が波打ったり、微妙にぶれる	<ul style="list-style-type: none"> • OSD によって自動調整を実行します。 • OSD によって、フェーズと周波数制御を調整してください。 • モニターを工場出荷時設定にリセットします。 • 環境係数をチェックします。 • モニターの場所を変えて、他の部屋でテストします。
ピクセルが抜けている	LCD スクリーンに点が入る	<ul style="list-style-type: none"> • サイクル電源オン - オフ。 • 永久的にオフになっているピクセルがありますが、これは LCD テクノロジーに固有の欠陥です。 • Dell 社のモニターの品質とピクセルに関する方針の詳細、詳細については、Dell サポート (http://www.dell.com/support/monitors) を参照してください。
ドット落ち	LCD スクリーンに明るい点が入る	<ul style="list-style-type: none"> • サイクル電源オン - オフ。 • 永久的にオフになっているピクセルがありますが、これは LCD テクノロジーに固有の欠陥です。 • Dell 社のモニターの品質とピクセルに関する方針の詳細、詳細については、Dell サポート (http://www.dell.com/support/monitors) を参照してください。
輝度の問題	画像が薄すぎるか、明るすぎる	<ul style="list-style-type: none"> • モニターを工場出荷時設定にリセットします。 • OSD によって自動調整を実行します。 • OSD によって、輝度とコントラストコントロールを調整します。
幾何歪曲	スクリーンが正確にセンタリングされていない	<ul style="list-style-type: none"> • モニターを工場出荷時設定にリセットします。 • OSD によって自動調整を実行します。 • OSD を使用して水平方向と垂直方向のコントロールを調整する。 <p>注： DP/HDMI 入力を使用しているとき、位置決め調整はご利用いただけません。</p>
水平 / 垂直ライン	スクリーンに複数の線が入る	<ul style="list-style-type: none"> • モニターを工場出荷時設定にリセットします。 • OSD によって自動調整を実行します。 • OSD によって、フェーズと周波数制御を調整してください。 • モニター自己テスト機能チェックを行い、これらの線が自己テストモードでも入るかどうかを確認します。 • ビデオ ケーブル コネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。 • 内蔵診断を実行します。 <p>注： DP/HDMI 入力を使用しているとき、周波数とフェーズ調整はご利用いただけません。</p>

同期化の問題	スクリーンがスクランブル状態か、磨り減って見える	<ul style="list-style-type: none"> • モニターを工場出荷時設定にリセットします。 • OSD によって 自動調整 を実行します。 • OSD によって、フェーズと周波数制御を調整してください。 • モニター自己テスト機能チェックを行い、スクランブル状態のスクリーンが自己テストモードでも入るかどうかを確認します。 • ビデオ ケーブル コネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。 • セーフモードでコンピューターを再起動します。
安全関連問題	スモークまたはスパークの明らかな症状	<ul style="list-style-type: none"> • トラブルシューティング手順を実行しないでください。 • 直ちに Dell にご連絡ください。
断続的問題	モニターの誤作動をオンおよびオフ	<ul style="list-style-type: none"> • コンピューターにモニターを接続しているビデオケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します。 • モニターを工場出荷時設定にリセットします。 • モニター自己テスト機能チェックを行い、断続的問題が自己テストモードでも発生するかどうかを確認します。
色が欠けている	画像の色が欠けている	<ul style="list-style-type: none"> • モニター自己診断テスト機能チェックを実行します。 • コンピューターにモニターを接続しているビデオケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します。 • ビデオ ケーブル コネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。
色違い	画像の色が正しくない	<ul style="list-style-type: none"> • 色設定 OSD で、アプリケーションに応じて、色設定モードをグラフィックスまたはビデオに変更します。 • 色設定 OSD で異なる色プリセット設定を試みます。色管理がオフになっている場合、色設定 OSD で R/G/B 値を調整します。 • 色設定 OSD で、入力カラー形式を PC RGB または YPbPr に変更します。 • 内蔵診断を実行します。
長時間モニターに静止画像を表示したために起こる画像の焼き付き	表示された静止画像のかすかな影が画面に表示される	<ul style="list-style-type: none"> • 使用していないとき、電源管理機能を使って、常にモニターの電源をオフにしてください（詳細については、電源管理モードを参照してください）。 • または、動的に変わるスクリーンセーバーを使用します。

製品別の問題

特定の症状	発生した問題	実行可能な解決策
スクリーン画像が小さい	画像がスクリーン上でセンタリングされているが、全表示領域を満たしていない	<ul style="list-style-type: none">● 画面設定 OSD で、アスペクト比設定を確認します。● モニターを工場出荷時設定にリセットします。
正面パネル上のボタンで、モニターを調整できない	OSD がスクリーン上に表示されない	<ul style="list-style-type: none">● モニターの電源をオフにして、電源コードを外し、もう一度コードを差し、電源を入れます。● OSD メニューがロックされているかどうか確認します。ロックされている場合は、電源ボタンの横にあるボタンを10秒間押し続けるとロック解除できます。ロックを表示してください。
ユーザコントロールを押しても入力信号がない	画像が表示されず、LED が白く点灯	<ul style="list-style-type: none">● 信号ソースをチェックします。マウスを動かすかキーボードのどれかのキーを押して、コンピューターが省電力モードに入っていないことを確認します。● 信号ケーブルが正しく差し込まれているかどうかをチェックします。必要に応じて、信号ケーブルを差し込み直してください。● コンピューターまたはビデオプレーヤーを再起動します。
ピクチャが画面全体に表示されない	ピクチャを画面の高さまたは幅いっぱいに表示できない	<ul style="list-style-type: none">● DVD の異なるビデオ形式により、モニターが全画面で表示できないことがあります。● 内蔵診断を実行します。

ユニバーサル シリアルバス (USB) 固有の問題

特定の症状	発生した問題	実行可能な解決策
USB インターフェイスが作動していない	USB 周辺機器が作動していない	<ul style="list-style-type: none">• モニターの電源がオンになっているかをチェックします。• アップストリーム ケーブルをコンピューターに再接続します。• USB 周辺機器（ダウンストリーム コネクタ）を再接続します。• 電源をオフにして、もう一度モニターをオンにします。• コンピューターを再起動します。• 外付けポータブル HDD のような一部の USB デバイスは、高い電流を必要とすることがあります。デバイスをコンピューター システムに直接接続してください。
高速 USB 3.0 インターフェイスが遅い	高速 USB 3.0 周辺機器が遅いか、まったく作動しない	<ul style="list-style-type: none">• コンピューターが USB 3.0 対応かどうかをチェックします。• コンピューターの中には、USB 3.0、USB 2.0 と USB 1.1 ポートの両方を搭載しているものもあります。正しい USB ポートを使用されていることを確認してください。• アップストリーム ケーブルをコンピューターに再接続します。• USB 周辺機器（ダウンストリーム コネクタ）を再接続します。• コンピューターを再起動します。
ワイヤレス USB 周辺機器は、USB 3.0 デバイスを繋ぐと作動を停止します	ワイヤレス USB 周辺機器は応答が遅くなるか、その周辺機器と受信装置の距離が短くなると作動します	<ul style="list-style-type: none">• USB 3.0 周辺機器とワイヤレス USB 受信装置の距離をあげます。• ワイヤレス USB 受信装置とワイヤレス USB 周辺機器の距離をできるだけ短くしてください。• USB 延長ケーブルを使って、ワイヤレス USB 受信装置をできるだけ USB 3.0 ポートから遠ざけてください。

Mobile High-Definition Link (MHL) 特有の問題

特定の症状	発生した問題	実行可能な解決策
MHL インターフェイスが作動していない	MHL デバイスの画像がモニターに表示されない	<ul style="list-style-type: none">• MHL ケーブルと MHL デバイスが MHL 認証のものであるか確認してください。• MHL デバイスがオンになっているか確認してください。• MHL がスタンバイ モードになっていないか確認してください。• 実際の MHL ケーブル接続が OSD メニューで選択した入力ソース（HDMI (MHL) 1 または HDMI (MHL) 2）に対応しているか確認してください。• MHL デバイスの中には復帰に時間を要するものがありますので、MHL ケーブルに接続した後、30 秒ほどお待ちください。

Microsoft® Lync® 特有の問題

特定の症状	発生した問題	実行可能な解決策
「応答」ボタンが機能しない	Lync のメイン画面が表示されない	<ul style="list-style-type: none">• モニターとコンピュータまたはノートブックを USB アップストリーム ケーブルで接続してあるか確認してください。• Lync にサインインしているか確認してください。
ウェブカムが検出されない	テレビ電話のときに画面に映像が表示されない	<ul style="list-style-type: none">• モニターとコンピュータまたはノートブックを USB アップストリーム ケーブルで接続してあるか確認してください。• コンピュータまたはノートブックに繋いだ USB アップストリーム ケーブルを繋ぎ直してみてください。
「無音」ボタンが機能しない	「無音」ボタンを押しても、相手の話し声が聞こえる	<ul style="list-style-type: none">• モニターとコンピュータまたはノートブックを USB アップストリーム ケーブルで接続してあるか確認してください。• コンピュータまたはノートブックに繋いだ USB アップストリーム ケーブルを繋ぎ直してみてください。
スピーカーから音が出ない	通話中に音が聞こえない	<ul style="list-style-type: none">• システムでデフォルトの再生機器を「DELL UZ2x15H」に設定してあるか確認してください。• モニターの電源を切り、モニターの電源コードを一旦抜いて、再度接続します。その後で、モニターの電源を入れてください。• モニターを工場出荷時設定にリセットします。
ワイヤレス マウスが作動しない、または反応が遅い	まったく反応しない、または反応が遅い	<ul style="list-style-type: none">• USB 3.0 周辺機器とワイヤレス USB 受信装置の距離をあけます。• ワイヤレス USB 受信装置とワイヤレス マウスをできるだけ近づけてください。• USB 延長ケーブルを使って、ワイヤレス USB 受信装置をできるだけ USB 3.0 ポートから遠ざけてください。

警告：安全指示

警告：このマニュアルで指定された以外のコントロール、調整、または手順を使用すると、感電、電氣的障害、または機械的障害を招く結果となります。

安全に関する注意事項については、製品情報ガイドを参照してください。

米国連邦通信委員会 (FCC) 通告（米国内のみ）およびその他規制に関する情報

米国連邦通信委員会 (FCC) 通告（米国内のみ）およびその他規制に関する情報に関しては、規制コンプライアンスに関するウェブページ www.dell.com/regulatory_compliance をご覧ください。

Dell へのお問い合わせ

米国のお客様の場合、800-WWW-DELL (800-999-3355) にお電話ください。



注：インターネット接続をアクティブにしていない場合、仕入送り状、パッキングスリップ、請求書、または Dell 製品カタログで連絡先情報を調べることができます。

Dell では、いくつかのオンラインおよび電話ベースのサポートとサービス オプションを提供しています。利用可能性は国と製品によって異なり、お客様の居住地域によってはご利用いただけないサービスもあります。

オンライン モニター サポートを読むには：

1. www.dell.com/support/monitors にアクセスします。

Dell の販売、技術サポート、または顧客サービス問題に連絡するには：

1. www.dell.com/support にアクセスします。
2. ページ下部の「国 / 地域の選択」ドロップダウンメニューで、居住する国または地域を確認します。
3. ページ左側の「連絡先」をクリックします。
4. 必要に応じて、適切なサービスまたはサポートリンクを選択します。
5. ご自分に合った Dell への連絡方法を選択します。

モニターのセットアップ

ディスプレイ解像度を設定する

Microsoft® Windows® オペレーティング システムを使用している間最適のディスプレイパフォーマンスを達成するには、次のステップを実行してディスプレイ解像度を 1920 x 1080 画素：

Windows® 7、Windows® 8、および Windows® 8.1:

1. Windows® 8 および Windows® 8.1 専用です。デスクトップ タイルを選択して、クラシック デスクトップに切り替えます。
2. デスクトップで右クリック、**画面の解像度**をクリックします。
3. 画面の解像度のドロップダウン リストをクリックし、**1920 x 1080** を選択します。
4. **OK** をクリックします。

Windows® 10:

1. デスクトップを右クリックし、ディスプレイ設定をクリックします。
2. ディスプレイの詳細設定をクリックします。
3. 画面の解像度のドロップダウン リストをクリックし、**1920 x 1080** を選択します。
4. 適用をクリックします。

オプションとして推奨解像度が表示されない場合、グラフィックス ドライバを更新する必要があります。ご使用中のコンピューター システムをもっともよく説明するシナリオを以下から選択し、示される指示に従ってください:

インターネットにアクセスして Dell™ デスクトップ コンピューターまたは Dell™ ノート PC を使用している場合

1. www.dell.com/support に移動し、サービス タグを入力したら、グラフィックス カードの最新ドライバをダウンロードしてください。
2. グラフィックス アダプタのドライバをインストールした後、解像度を再び **1920 x 1080** 画素に設定します。



注: 解像度 1920 x 1080 に設定できない場合、Dell™ に連絡してこれらの解像度をサポートするグラフィックス アダプタを調べてください。

非 Dell™ デスクトップコンピューター、ノート PC、またはグラフィックカードを使用している場合

Windows® 7、Windows® 8、および Windows® 8.1:

1. Windows® 8 および Windows® 8.1 専用です。デスクトップ タイルを選択して、クラシック デスクトップに切り替えます。
2. デスクトップ上で右クリック、**カスタマイズ**をクリックします。
3. **ディスプレイ設定の変更**をクリックします。
4. **詳細設定**をクリックします。
5. ウィンドウ上部の説明から、グラフィックス コントローラ サプライヤを確認します (NVIDIA、ATI、Intel など)。
6. 更新されたドライバについては、グラフィックカードプロバイダの web サイトを参照してください (たとえば、<http://www.ATI.com> または <http://www.NVIDIA.com>)。
7. グラフィックス アダプタのドライバをインストールした後、解像度を再び **1920 x 1080** 画素に設定します。

Windows® 10:

1. デスクトップを右クリックし、ディスプレイ設定をクリックします。
2. ディスプレイの詳細設定をクリックします。
3. ディスプレイアダプターのプロパティをクリックします。
4. ウィンドウ上部の説明から、グラフィックス コントローラ サプライヤを確認します (NVIDIA、ATI、Intel など)。
5. 更新されたドライバについては、グラフィックカードプロバイダの web サイトを参照してください (たとえば、<http://www.ATI.com> または <http://www.NVIDIA.com>)。
6. グラフィックス アダプタのドライバをインストールした後、解像度を再び **1920 x 1080** 画素に設定します。



注: 推奨解像度を設定できない場合は、コンピューターの製造元にお問い合わせになるか、ビデオ解像度をサポートするグラフィックス アダプタの購入をご考慮ください。